

令和2年度シラバス

科目名等	単位数	教科書名	副教材等
現代文	2	高等学校 現代文B (数研出版)	改訂版 現代文解法のテクニック4 (啓隆社) 現代文単語 (いづな書店)

【到達目標】	1 漢字および語彙の知識を広げる。 2 文章を速く正確に理解する読解力を養い、加えて、様々なタイプの設問に対応できる解答作成能力を身に付ける。 3 本文に対して自分の考えを持ち、まとまった文章として表現する力を養う。
【学習上の留意点】	1 演習を中心に展開するので、予習が授業の成果をあげる大前提。自分の力で本文の要旨や主題を読み取り、設問に対する解答を用意して授業に臨むこと。 2 授業を通して、自分の読解および解答を導くプロセスが正しかったかを確認すること。その後、十分に復習をすることに加え、要約作成等、必要に応じて発展的な学習に取り組むと、より一層の成果が期待できる。
【評価の指標】	1 定期考査・単語テスト等の成績 (小テストの日程は授業初日に配布する) 2 出席状況・授業態度 3 提出物

月	進度(単元)	主な学習内容	定着チェック
一学期 4月 5月 中間	・実践力養成 ・評論・小説解法の着眼点を学ぶ ○本文構造把握 ○記述論述解答 ○要旨要約 「現代文解法のテクニック4」 (啓隆社)	・現代文の主な出題パターンに触れ、必要な対策や具体的な学習法について確認・理解する。 ・評論読解法の基本原理(筆者の主張を掴む)を理解し、自分で実践できるようにする。 ・正確な読解の上に立ち、論理的に正答を導くことができるようにする。	<input type="checkbox"/> 表現上の工夫に着目し、筆者の主張を把握することができたか。 <input type="checkbox"/> 同義置換型の解答法を理解できたか。 <input type="checkbox"/> 理由説明型の解答法を理解できたか。 <input type="checkbox"/> 要旨要約ができたか。
一学期 6月 7月 期末	・実践力養成 ・評論・小説解法の着眼点を学ぶ ○本文構造把握 ○記述論述解答 ○要旨要約 「現代文解法のテクニック4」 (啓隆社)	・評論読解法の定着を図り、より速く本文および設問を処理できるようにする。 ・小説読解の留意点(人物・情景描写を押さえる)をふまえつつ、登場人物の心情を正しくつかめるようにする。併せて、センター試験の小説問題への対応を考える。	<input type="checkbox"/> 評論読解を制限時間内に正確に解答することができたか。 <input type="checkbox"/> 場面・状況を的確に把握することができたか。 <input type="checkbox"/> 登場人物の心情の推移を読み取ることができたか。 <input type="checkbox"/> 要旨要約ができたか。
二学期 9月 10月 中間	・入試問題演習	・文系 国公立大学2次試験対策。正確な読解力の伸長・記述論述力を、実践を通して身に付ける。 ・理系 センター試験の傾向を把握し論拠を持った解答ができる力を身に付ける。	<input type="checkbox"/> 記述問題の解答法を身につけることができたか。 <input type="checkbox"/> 国公立・センター試験の設問形式への解法を理解することができたか。
二学期 11月 12月 期末	・入試問題演習	・センター試験の問題を中心に上げる。短時間で本文を読む速読力を養うとともに、センター特有の出題形式に対応できるようにする。	<input type="checkbox"/> センター特有の設問形式を理解することができたか。 <input type="checkbox"/> センターの制限時間内に正確に解答する事ができたか。
学 年 末 1月 2月 3月	・入試問題演習	・センター試験まではセンター対策を行い、その後は、類型ごとのニーズに応じて素材を選び、実践的な演習を重ねる。	<input type="checkbox"/> 文章を総合的に把握し、部分設問と全体設問に的確に解答することができたか。 <input type="checkbox"/> 自己の得意・苦手な分野を把握し、それに対して適切な補強を行うことができたか。